

寿小学校 学校便り



想像することの大切さ

校長 小野 武利

新たな年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、本校の教育活動に御理解・御協力をいただき、心よりお礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、冬休みが終わり、3学期が始まりました。始業式では、元日に発生した能登半島地震について話をしました。その中で、被災地の生活の辛さを想像すること、被災した方々へ思いをはせることの大切さについて話しました。今、私たちにできることは、地震で辛く苦しい状況にあり、親しい人を亡くしたり行方不明になったりしている、能登半島の人々のことを思うことしかできません。この「思うこと」を、子どもたちには、「想像」という言葉で伝えました。他人の痛みや苦しみは、その人の心の中を想像することができないと感じ取れません。いじめも同じです。友達の痛みを想像できないから、いじめという行為が起こります。また、いじめを見て見ぬふりをする傍観者も同じです。話の中で、マザー・テレサの言葉を引用しました。

「愛という言葉の反対の意味は、憎しみではなく、無関心であるということです。」友達や他人の心の中を想像し、痛みや苦しみだけでなく、喜びなども感じ取れる子どもたちであってほしいと思います。

それから、3学期のめあてについて、卒業に向けて6年生に望むこと、5年生への期待などについても話をしました。3学期は1年間の総まとめの学期であると同時に、令和6年度の準備の学期でもあります。令和6年度がスムーズにスタートするためには、現5年生が最高学年としての心構えを3学期中に身に付ける必要があります。そのためにも、勉強でも、日頃の生活でも、今の6年生が「これが寿小の6年だ!」という姿を、5年生以下に見せつけてから、卒業という日を迎えてほしいと願っています。



2学期終業式・3学期始業式

12月22日(金)に2学期の終業式がありました。今年一番と言ってよい寒さの中、子どもたちは元気に登校していました。代表児童のことばでは、1年中野結月さん・3年谷口心音さん・5年日下部あかりさんが2学期の行事や学習をふり返り、目標に向かって取り組んだことやこれからの目標について発表しました。



1月9日(火)の始業式では、2年永田昊誠さん・4年上林山依愛さんが新年の目標について発表しました。



3学期は、あっという間に過ぎてしまいますが、とても大切な期間です。1年間の成長を感じつつ自分のよさを再発見できるようにサポートしていきます。保護者の皆様も、励ましの言葉や自己有用感に繋がる支援をお願いします。



おやじの会門松作り

12月23日(土)に、おやじの会の方々が「門松づくり」を行いました。



参加された保護者の方々がそれぞれの技能を発揮して作業を行いました。おやじの会の皆様にはこれまでも安全指導や環境整備等、職員だけでは対応できない所をサポートしていただいています。

2・3月の主な行事予定

月	日	曜	行事・活動等
2	10	土	土曜授業
2	20	火	第2回学校保健委員会
2	21	水	PTA常任委員会
3	5	火	授業参観・学級PTA(高学年)
3	6	水	授業参観・学級PTA(中学年) 4年生「10歳を祝う会」(体育館)
3	7	木	授業参観・学級PTA(高学年)
3	8	金	6年生を送る会
3	9	土	土曜授業 エコ活動 愛校作業 金管バンド定期演奏会
3	22	金	第81回卒業式
3	25	月	修了式、離任式、大掃除

〒893-0014 鹿屋市寿5丁目20-2
鹿屋市立寿小学校
TEL0994-43-6890
FAX0994-40-1136

